

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第133号	
事故等種類	衝突（防波堤）	
発生日時	平成21年10月21日 20時30分ごろ	
発生場所	長崎県平戸市 田平港西防波堤灯台から真方位164°90m付近 （概位 北緯33°21.50′ 東経129°34.46′）	
事故等調査の経過	平成21年10月22日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 第八勇進丸、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	135138、勇進海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海） 次席一等航海士、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	バルバスバウ曲損、バルバスバウ上部にき裂及び破口、右舷外板擦過傷 田平港防波堤に長さ約5mの擦過傷及び外灯柱1本折損	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、平戸瀬戸を北進中、次席一等航海士が左舷前方の田平港西防波堤灯台の赤灯を5年前に撤去された大田助瀬灯標と誤認し、針路を誤ったまま航行して田平港防波堤直前で気づき、舵を左に切ったが間に合わず、平成21年10月21日20時30分ごろ、田平港防波堤に船首部が衝突した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 1 海象：潮汐 上げ潮末期	
その他の事項	レーダー、GPSともに作動していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、平戸瀬戸を北進中、水路調査を適切に行わず、また、レーダーやGPSで船位の確認を行っていなかったものと考えられる。 次席一等航海士は、操船中、田平港防波堤に向かって航行していることに気付かず、同防波堤が目前に迫って気付いたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が平戸瀬戸を北進中、水路調査を行わず、また、船位の確認を行っていないため、田平港防波堤に衝突したことにより発生したものと考えられる。	